

横山 知	佐藤友長	林 三郎
福原三鏡	久米康吉	枝 寄泰
中吉轉熙	黒川直清	加來 鼎
吉村 辨	平田友雄	菊地 涉
八木原五右衛門	齋藤確郎	鈴木重規
菊田令辰	若森直正	津久井吉郎
松下信友	鈴木 秀	堤 忠雄
谷口伴次郎	直江克巳	大井芥隄
田信順信	寺田一尾	芹澤判平
赤松平内	平田 寛	林 万里

三

植田重高	佐野庸吉	相馬信篤
渡邊充知	馬場作森	中山保明
長谷川 純	野村 徳	相馬金藏
阿部重定	金澤一郎	鈴木 輝
小林義頼	吉田直温	川村喜重
岩谷徹二郎	平野廣平	守山篤親
樋口兼政	中山元成	

金壹圓貳拾錢

長房利順

金壹圓

金八拾錢

川島正之

石上融

保坂孝三

山崎八郎

石原操

影山昇

白根由己

橋本寛

富田利久

緑川正矩

高信貞顯

石井幹

落合駒吉

南條喬

太田良省三

大田壯太郎

北村國松

高島光太郎

谷村常行

大石以徳

平井鼎次郎

伊吹顯榮

大塚信明

松島理武

貴志權六

荻原貞

米田正身

宇島昌

角田孝恭

久野輝觀

根本清太郎

守山明禮

田口至廣

田中文七

杉山教道

中村一也

三惠由祐

藤田禮敬

野村温

小澤直光

窪田金治

村上保釐

竹内大五郎

金原信順

田倍順

籠宮邦光

土田忠宗

英輝真

飯田武

田沼由信

本庄政直

新井文雄

鈴木義敏

小堀忠告

岩堀英育

四

金七拾貳錢

柏木武太郎

田中長孝

伊藤行藏

金七拾錢

福留昌親

村松 誠

上野成教

鈴木一重

土方 功

薄井徳元

縣 幹

袴田小作

村越 茂

官崎重寛

高橋維祺

兼坂新助

田村善尾

大須賀胤明

和田餘太郎

笹間鎮士

木村清風

金六拾四錢

五

越川鋼平

清水令光

内山光親

鈴木彌兵衛

成田祐造

山崎藏造

永山敬三

加藤勘七

大塚忠衛

金六拾錢

伊藤祐成

山内俊良

新田義融

石原元三郎

依田祐之

土田惣三郎

淺羽茂通

山内敏次

神戶 清

堀新太郎

村井久万一郎

安本彌平太

鈴木忠信

尾關助太郎

山根岩三郎

小島善福

子安傳作

緒方信孝

金五拾六錢

津田己三郎	國友長知	鈴木又六
山崎美代助	阿出川貞謙	高橋知義
磯野甚翁	山本平吉	
小澤直人	久保常吉	三浦信六
江本賢次郎	吉野貴造	榎下小造
官原鐵太郎	若米惟精	尾手 晃
内藤正賢	山本 直	堀江榮之助
小林廣治	石井章三	磯部安太郎
飛留間興三郎	椎名兵助	

六

金五拾錢

角谷信之	酒井昌營	早川隼之助
荻田直乘	磯谷清見	鈴木 高
武藤綱賀	山上 保	伊藤善次
伊藤順平	阿妻四郎	上田次久
長谷川小八郎	穂積 求	松永直温
中瀬順三	櫻井 哲	嶋沼庫吉
古宮千藏	布施新吉	齋藤 算
安部井正藏	山上辰藏	高橋經太郎
赤塚喜人	芋川親光	須田徳寛

河野春平	氏家廣業	海津政修
西牟田經治	千野織三	小林修治
鈴木二郎	吉田直親	大木徳三郎
藤田録嗣	武清粹	田村雅清
藤本一作	内田佐一郎	石橋久藏
兒玉實載	蟻川典二	芳村節成
鈴木寛輔	早川松之助	古山源之助
牧野養得	岩田七郎	倉島雅期
三上秋治郎	豊田千代吉	比々羅木齊
秋葉信太郎	西村信平	御嶽重堯

金四拾八錢

鈴木佐五兵衛	宇島則頼	吉田隆敬
池野輔世	中村壯三郎	角谷一之助
片山直品	平山長兵衛	小澤喜代治
井尻源藏	田中精一	知久正道
田沼由道	千葉胤覺	齋藤胤保
平木登也	鹽山格	大村武輝
高橋孝吉	平田久馬男	

金四拾五錢

西川金助
田中庄吉
山口久米藏

七

金四拾錢

大石式次郎	金原庸三	増尾 毅
江原 計	池谷柳次郎	岩崎領人
森川銀之助	大石加子次	山口常右衛門
岡 重知	小林金右衛門	小高廣太郎
高梨太一郎	佐藤又六	中島加壽
伊東堅靜	栗原壽一	大原秀雄
栗原源吾	杉本昇藏	鳥井利恭
市村喜久次	大石高遠	荻須是明
大森未治	下山詮吉	戸倉壬平
小笠原總忠	生田錫三郎	池田三喜太郎
佐久間榮藏	伊澤敬三郎	戸村七郎
根本謙五右衛門	梶川儀定	吉田儀軌
武田長三郎	金子鐘次	高安貞作
久古胤信	齋藤全統	草出五郎
三浦五郎	小久保己之七	長谷川春兵衛
金坂直發	石井新左衛門	深澤榮吉
馬渡貞精	宇井甚兵衛	宮田四郎左衛門
山田昌吉	柏崎兼吉	中村惣平
樋口勝太郎	福田重鉉	石川 燕八

八

近藤省三	藤崎長助	竹内其治
武田 榮	田中源左衛門	新井濱次郎
松倉謙治	島海政兵衛	滑川總兵衛
町田民治	淺井時治	山下三千次郎
木原 演	山口直圓	菊間鯉三郎
池田多美治	佐藤清助	濱野 榮
青木 基	新井謙一郎	金子方重
吉原盛之	齋藤 濟	水崎敏茂
小川 貴	近藤貞隆	久保田 幾
松平定純	遠藤於菟二	四宮彌市
松岡直康	鈴木安太郎	橋本理平治
津川真太郎	久保木藤七	内田三太郎
澁谷定次郎	二瓶藤一郎	山下隆績
鈴木仁兵衛	北根小吉	柳澤信實
赤垣登喜男	上山齊次郎	佐藤一郎
海保鼎次郎	佐藤恒高	深海大治
水守習之	椿 藤吉	阿野庄吉
井下田澄江	小泉佐七	永田市太郎
恩田 輝	深澤彌三右	高橋金四郎
中島秀信	齋藤彌五郎	田村万次郎

河野彌右衛門

久保田輝昇

小池宗智

金阪與次右衛門

石井摠作

金刺傳一郎

佐久間三雄

妹尾鎮太郎

今枝雅九郎

加地成孝

小林政脩

岡田清

岡澤珍牛

西尾昌胤

柳瀬好之

木島源次郎

古川滿津三

村山勇次

豊谷川平一郎

吉村時三

酒井金造

金三拾錢

岡崎延久

齋藤章

關根博

吉澤清吉

小林圓

阿久津啓助

金貳拾五錢

一原金政

板橋市兵衛

酒井治左衛門

武田伊勢松

御園重藏

河野清次

平山茂吉

石川晋

石井利通

吉川五郎

橋本晟

池谷度

淺井洗

川口貞吉

栗原猪九郎

池野可行

松浦重策

村松元

牧野龜次

小黒龍藏

廣瀬彌吉

小幡一

大木啓三郎

津村長次郎

松野三樹太

小幡勉示

柳直三九

金貳拾貳錢五厘

島村峯宮	傍島由義	中島文三郎
相馬 勇	木村貞彦	中澤禮徳
渡邊安治	友成三太郎	山本昌懐
板倉藤七郎	池田龍眠	江刺家雄吉
細谷 衡	齋藤信道	織本定次郎
渡部芳正	渡部美泥	加藤 認
戸田銀邑	瀧口常男	植木小平
伊藤松次郎	加納久五郎	飯泉傳一
谷山平兵衛	平山管藏	

金貳拾錢

遠藤昌三郎	西山彌兵衛	小高留藏
瀧川五兵衛	菊池治平	小林半兵衛
鍋田玄政	小川久五郎	土井文治郎

三橋正行	逸見濃夫	飯田管光
山根 保	田中敬七郎	林 久藏
松崎八次郎	齋藤源太郎	狩野佐十郎
小林久米之助	高地繁藏	桑田清三
山川 齋	布留川兼三郎	弓削藤一郎
小倉忠右衛門	相馬半藏	中村正清

伊藤 忍	小島 爲彌	久野 米衛
淺田 忠兵衛	増田 濱藏	奥山 茂
田村 忠雄	吉村 喜十郎	加藤 芳之助
鹽田 彦平	石井 誠之助	津川 鉄藏
小島 昌光	野村 祐三郎	長谷川 定平
池田 基	内野 周太郎	大密 兌岡
寺田 誠之助	瀧野 勝念	可兒 行貞
重木 藤吉	岩田 清高	秋葉 節三郎
笹本 英	三橋 橋三	川島 義實
行方 豊太郎	鈴木 源二郎	飯田 恭齋

十二

大島 邦住	成田 辰之助	山田 猪六
佐藤 信精	吉川 泉	遠藤 重久
草間 義禮	金子 義治	近藤 齋
川島 知義	長峯 茂雄	三浦 氏弘
安川 柳太郎	星野 伊平	船場 保明
今井 平三郎	森 可直	武田 長兵衛
塚本 繁次郎		

金拾五錢

和泉 福松	喜多 晴久太郎	二關 豊太郎
蜂谷 信通	石井 篤親	岡山 篤義

乙第三百六拾四號

區長
戶長

有栖川二品官御儀銃獵期限中警視局免許鑑札ヲ
以當管下へ折々遊獵相成候旨今般宮内省ヨリ通
知越候條爲心得此段相達候事

明治十年十二月十一日 千葉縣令柴原 和

乙 冊三百六拾五號

區 長
戶 長

陸軍教導團生徒召募之儀ニ付本年縣廳甲第百五拾五號ヲ以相違置候處志願之者有之候ハ、左ノ書式ニ照準シ名簿調整可差出候此段相違候事

明治十年十二月十四日
千葉縣令柴原和代理
千葉縣大書記官岩佐爲春

書式

千葉縣何族或ハ平民

姓 名

何年何月何年何ヶ月

同 斷

同 斷

同 斷

同 斷

合何人

右人名之者陸軍教導團生徒志願候間御檢査被下

度此段申進候也

千葉縣第何大區何小區戶長

年號月日

姓名印

陸軍教導團生徒検査官

御中

乙第 三百六拾六號

區 長
戶 長

明治九年度酒類平均相場之義本年九月縣廳乙第
貳百六拾壹號ヲ以相違置候處右酒價平均相場價
格不適當之廉モ有之趣ヲ以今般其筋ヨリ違ノ次
第有之且本省主務ノ官員派遣各府縣トモ再調査
相成因テ兼テ管内各所相場書上方實際及調査候
處取調方粗漏ノ向モ有之自然買價ト離隔致レ夫
々引直方顯出候ニ付尙順序ヲ經再調査ノ上價格
決定相場平均更ニ可相違候テハ最前ノ違ハ取消
レ候條得其意區内各營業者へ無洩可相違置此段
課テ相違候事

明治十年十二月十四日 千葉縣令柴原和代理
千葉縣大書記官岩佐爲春

乙第百六拾七號

區長
戶長

本年^{十月}十二縣區乙第百六十三號ヲ以テ相違候通
西征從軍戰死者其外招魂祭施行ニ付テハ死亡者
親族其他一般參拜差許シ隨テ永ク其功績ヲ表ス
ル爲メ縣廳傍ヘ碑石ヲ建立候條有志ノ輩右費用
寄附ノ儀モ差許候間得其意夫々通達可致候此段
豫テ相違候事

但寄附金相願候者有之候ハ、願書取纏來ル明

治十一年一月十五日迄可差出候事

千葉縣令柴原和代理
明治十年十二月十五日 千葉縣大書記官岩佐爲春

乙第三百六拾八號

區
長

酒類平均相場書上ヶ方之義昨九年二月縣廳乙第五拾號同第五拾六號ヲ以相違置候處詮議之次第有之右違ハ總テ取消シ更ニ當十年度ヨリ別紙之通リ改正候條區内右營業者へ無洩可相違此段相違候事

但是迄差出濟ノ向モ本年十月分ヨリ本條ニ做
ヒ更ニ取調可申事

千葉縣

明治十年十二月十九日
千葉縣令柴原和代理
千葉縣大書記官岩佐爲春

乙
平

酒類相場書上ケ方順序

一酒類相場書上ケ方之儀ハ甲年十月一日ヨリ乙年六月三十日迄九ヶ月間毎種清酒味淋燒酎白酒銘酒濁酒相場取調各酒造營業之者ヨリ該小區扱所へ月々可差出候事

一相場之義ハ新酒古酒卸賣小賣ヲ不問酒造家於テ賣却スル處ノ上酒真價ヲ可書出事

但自家釀造ノ酒類へ他釀ノ酒類ヲ調合賣出シ候分ト雖モ本文平均相場へ算入可致事

一小區扱所於テハ月々區内各酒造營業人ヨリ差出

三 千葉縣

ス處ノ相場書ニ連署シ區内取調ノ翌月五日限リ該大區扱所へ差出スヘキ事

但各酒造人於テ相場書差出方等閑候者アルキハ之ヲ督促シ並價格其當ヲ得サルト見認タルモノハ直ニ爲引直可申事

一大區扱所於テハ區内各小區ヨリ月々差出ス處ノ相場書ヲ檢査シ大區限聯合ノ大區限酒類ヲ分チ之ヲ平均一表ヲ製シ其原書ト俱ニ翌月十日限り縣廳第三課へ進送スヘキ事

但酒價表用紙之類ハ常用野紙へ適宜記載可差

出事

一各大區ヨリ進達スル處ノ酒類相場書其當ヲ得サ
ルモノト見認ルヤハ再調査ヲ命スルコアルヘシ

右之通候事

明治十年十二月

千葉縣

三

千葉縣

乙第三百六拾九號

區長
戶長

補
叙

濁酒造營業ノ義今般酒類稅則中工道加相成候ニ
 付縣稅種目中本年九月限刪除候旨縣廳甲第百五
 拾七號布達但書ヲ以相違置候處同年十月以降既
 ニ廢業届出候者ハ仮令縣稅種目中除去候ニ其廢
 業本年太政官第八拾壹號布告發行前ニ係ル分ハ
 其賣捌稅縣稅之部エ上納可致候尤釀造ノ殘酒有
 之爾後販賣ヲ爲スモノハ更ニ卸小賣ノ免許鑑札
 申請ク營業稅上納可致答ニ候條此段爲心得更ニ
 相違候事

明治十年十二月廿一日

千葉縣令柴原和代理
千葉縣大書記官岩佐爲春

郵便取扱役

各郵便局當十二月分御勘定表之義ハ賦過局ニ於
テ計算仕上之都合有之別段取急候趣ヲ以テ今般
同局長ヨリ掛合越ノ次第モ有之候條本月分ノ義
ハ精々違算脱字等無之様取調必ス定日ヲ短ラス
迅速可指出尤同月分ニ限リ該表差立ノ即日當縣
第一課賦過掛工申報可致候此段相違候事

但本表差出方之義ハ兼テ相違置候通無謂淹滯
スルニ於テハ素ヨリ至當ノ處分ニ付セラル可
ク答ニ候條向後トモ差出方運緩セサル様注意
可致事

明治十年十二月廿二日

千葉縣令柴原和代理
千葉縣大書觀官岩佐爲春